

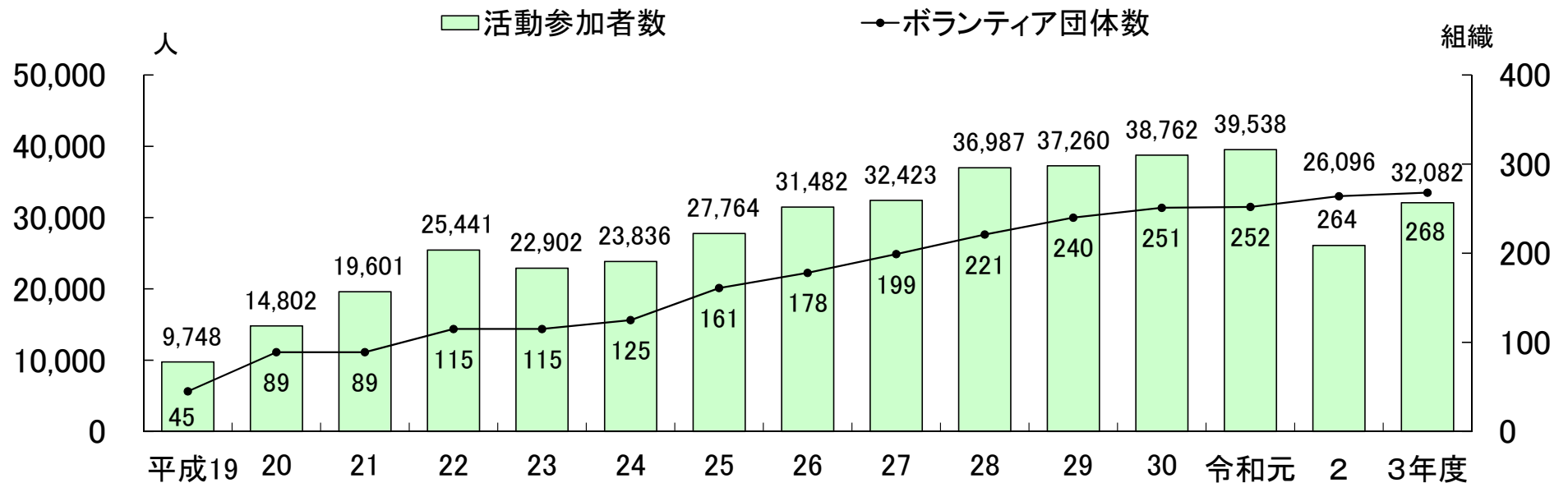
森林ボランティアの 支援体制強化について

令和4年8月5日

県内の森林ボランティアの活動状況

- 本県の森林ボランティア団体数は、福岡県森林環境税による支援を開始した平成20年度以降、増加傾向にあり、令和3年度末時点では開始前の約6倍となる268団体まで増加。
- また、ボランティア活動への参加者数も、令和元年度には支援開始前の4倍となる約4万人まで増加。（令和2年度は新型コロナの影響で減少したものの、3年度には3万2千人まで回復。）

【県内の森林ボランティア団体と活動参加者数の推移】

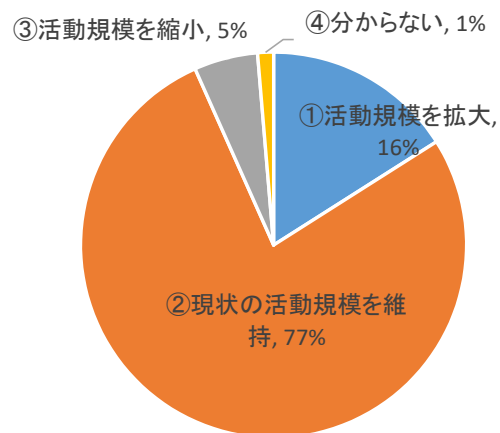


県内の森林ボランティアの現状と課題

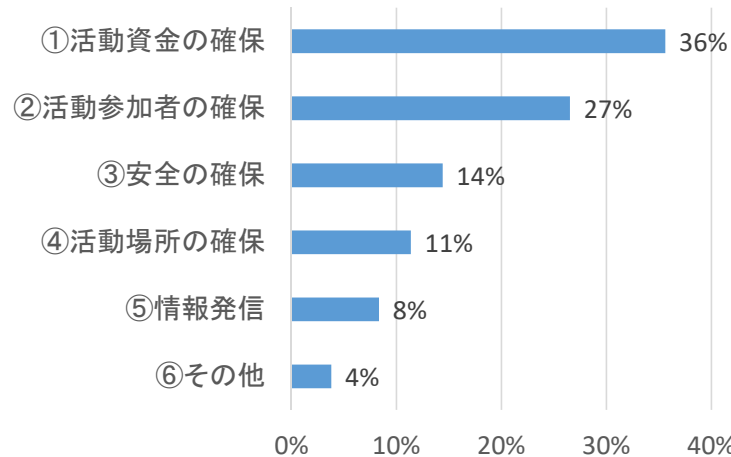
- 中間検証にあたり、昨年度、森林ボランティア団体に行ったアンケートでは、9割以上の団体が継続した活動の意思を示す一方、多くが活動資金や参加者の確保等に苦労していると回答。
- パブリックコメントでは、森林ボランティアの活動に対する支援の継続や拡充を求める複数の意見。
- また、検討委員会における公募事業の審査においても、活動に要する経費を同事業のみに依存している団体に対し、事業による支援が無くなった場合の活動継続を危惧する意見が出されている状況。

【森林ボランティアへのアンケート(一部抜粋)】

Q: 今後の森林づくり活動の予定



Q: 森林づくり活動を実施するうえで苦労していること



【パブリックコメントでの主な意見】

- 森林づくり活動の継続・拡大に向けて引き続き支援をしてほしい。
- 森林ボランティア団体に対して、引き続き支援と支援の拡充をしてあげてほしい。
- 森林づくり活動を実施するにあたって、もっと川上側のことを教えていただき、また、関係機関との連携や情報提供・指導をしていただきたい。
- 森林づくり活動公募事業の対象経費の上限を上げてほしい。

森林ボランティア活動の支援体制強化

- 福岡県森林環境税を活用した取組により、「森林を守り育てる気運の向上」が着実に図られる中、施策効果を持続的に発揮させていくためには、森林ボランティア団体の活動継続が不可欠。
- 各団体の活動継続に向けては、それぞれが抱える課題の解決を図っていく必要があるものの、現在、県には活動を総合的にサポートする仕組みが無い状況。
- このため、活動に関する相談受付から各種サポートの実施まで、ワンストップで行う体制の構築を検討する必要。



【森林ボランティアサポート総合窓口】

○ 具体的なサポート内容(案)

- 各種支援制度の紹介
- 参加者確保に向けた他団体(市町村、企業、他ボランティア団体等)とのマッチング
- 活動場所の斡旋
- 森林整備活動等に対する助言、指導の実施
- 森林ボランティアの活動に関する各種情報発信 等